

羽田～川崎連絡橋整備（政府方針）に対する

横浜市長コメント

<林 文子 横浜市長コメント>

国家戦略特区の対象区域に、「東京圏」が指定され、「世界で一番ビジネスのしやすい環境」の創出を目指すため、このたび、羽田を玄関口とした国際ビジネス環境の早期実現に向けて、羽田空港と川崎市殿町地区の連絡橋を政府として整備する考えが示されました。

横浜市は、これまでも、神奈川県及び川崎市と連携し、羽田空港の国際化に伴って、空港との一体化による相乗効果を期待して、神奈川口構想の一環としての連絡橋の実現に向けて、3県市で協調して国等へ働きかけてきました。

今般、更なる国際線の増強や、国家戦略特区による国際ビジネス拠点の形成に資する取組の一環として、政府が連絡橋の実現に向けて、力強い認識を示されたことは、3県市のこれまでの国に対する働きかけの成果が結実したものとして、大変嬉しく思います。

こうした流れをしっかりと活かして、ライフイノベーション分野の取組や横浜駅周辺でのビジネス拠点形成の強化に更に注力し、活気溢れる横浜を実現し、日本の成長戦略に貢献してまいります。

お問合せ先		
政策局政策課担当課長	鵜澤 聡明	Tel 045-671-4202
経済局成長産業振興課担当課長	守屋 喜代司	Tel 045-671-4600